

トランプは孤立主義者ではない(リパティ-6月号)から学ぶ 担当:石田 2024年5月25日

孤立主義者という見方は言葉遊び。Trumpの国家安全保障戦略は「中国封じ込め」が中心概念。**核で恫喝し、台湾侵攻を防ぐ。**中国はその前に侵攻か? 頼政権への威嚇、台湾周辺で軍事演習。また、米国内でのハマス支援デモ、Trump再選妨害、最期は『戒厳令』下での無選挙を画策?

孤立主義と誤解されるのが、ウクライナ即時停戦の主張。ウクの勝利は無いし、ウ国内でも「停戦派」が多数になった。しかしメディアや専門家は戦争を長引かせている(金儲けの欲)

米国はイラク戦争などで疲弊しており、露と中への二正面作戦は不可能。露と組まないと最大の悪中国独裁政権は倒せない。守護霊「主の言う通り、米・露は手を組むべきだ」

Trumpは同盟国の対米依存を変え、自立した国家群を望んでいるだけ。米国復興の祖として天上界から送り出され神のメッセンジャー、同盟国はTrump革命に合わせるべきだ。

エルカンターレの下生目的:白人植民政策の歴史修正、中国の政治体制の民主化、人権が無視されているイスラム世界の近代化。印度チベット周辺で前回起きた地球核戦争後に日本に降り立った天御祖神。それ以降の歴史掘り起こし、日本神道発掘の見直し、富士王朝史、宮下文献等掘り起こしなども計画かも。

情報1:裏勢力の陰り。世界経済フォーラム(WEF)創設者クラウス・シュワブの辞任(病気説、GITOMで死亡説)。ヘリテージ財団(Trump政権移行チーム)議長ケビン・ロバーツの辛らつな**WEF講演**。シュワブ入院説直後の議長演説はTrump陣営のプログラム? 「エリートたちが作ったWEFがリベラルの民主主義を守る組織、というのは笑い種だ」
気候変動、LGBT、WHOのパンデミック条約などの押し付けを批判。Trumpは科学的だ。
バノン氏の言葉: エリートたちの民主主義 VS 皆の衆革命 (Trump台頭、英国のブレグジット運動)

シュワブが心酔する『解放の神学』G.グティエレス。『Open Society』を理想とするソロスの師はカール・ポパー。共に、唯物論者で、『Open』の意味を誤解。開かれた社会(心の指針234)「現代の知識人には霊界の存在を伝えるプラトンが人間を迷信の殻に閉じ込める暴君に見える」

『黄金の法』:ポパー哲学、**唯物論の呪縛**解説:精霊信仰のような閉じた世界から、明るい合理主義へ導くのが哲学、プラトンは逆に靈魂信仰、転生輪廻を持ち出して、“閉じた”“洞穴”的世界に閉じ込めた、という逆転した思想を広めてしまった。形の違う共産主義

情報2:共和党がウクライナ支援法案に妥協した裏に岸田・Biden会談の密約がある説。
Trumpが妥協したのは9.4兆円支援が融資という条件がある。焦げ付いたら(ウ国に返済できるはずが無い)日本政府が政府保証すると岸田がBidenに密約した。個人の密約だから、米国としては岸田退陣を望まない、首相継続の魂胆か? 日本はATMに成り下がった?

情報3:エルカンターレお隠れの意義? **HSの憲法試案(16条憲法)を提唱する絶好機?**
自民党改正案は『天皇元首』のまま、これは天皇に敗戦責任を負わず「天皇不敬論」である。明治維新をやり直すのなら、幕府開設(釈党首持論)と同じ意味を持つ征夷大將軍(大統領)を国民の中から選挙で選び「敗戦責任」をも担っていただくのが、天皇制を維持してきた日本人の智慧であろう。S学会が「総体革命」と称して人材を各層に配置して「I・Dによる日本乗っ取り」を警戒されたのと同じ警戒感がHSには存在したが、今は薄れていて、大統領制を打ち出す好機だと思われる。小さな政府、減税論、予算の単年度制廃止などは、インパクトが弱く票にはならない。林立する他政党の政策との差別感が出ない。
さらに聖徳太子の冠位十階(徳・仁・礼・信・義・智)の精神を再構築:幸福生産士(黄色の免許)、家庭調和士(白色の免許)、社会変革士(赤色の免許)、神理科学士(銀色)などを創設し、国民が誰でも取得可能にする。全色取得を生涯学習の目標に、ユートピア建設を目指す。